

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 5月 31日

事業所名 オルタナティブハウスわがや

		チェック項目	はい		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5				
	2	職員の配置数は適切である	5				
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			3	2	バリアフリー化はされていないが、トランポリンの乗り降りや、柵を登ったりなど子どもの状態にあわせて練習し、皆が施設使用ができるよう配慮している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				また今年度の調査結果をしっかりと話し合い業務改善に繋げていきたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3		2		自己評価表については第三者による評価を受けていないが、いろいろな機械で第三者の評価を聞き業務改善に繋げている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	1		コロナで外部へ出かけての研修がなかった。Zoom会議などの情報をもっと取り入れて機会を作っていきたい。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5				
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1		4		入所時にアセスメントツールを使用しているが、モニタリング時の更新をしていないことがあったので今後は更新に共有していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5				
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4		1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5				集団活動の苦手な子が多いので、集団活動が行えるよう個を支えるようにしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	1			毎朝のミーティングでその日の活動内容や分担を確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1			毎日送迎終了後のミーティングで振り返りをするとともに記録を共有して確認している。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5				一人一人の記録をしっかりと取りモニタリング前に振り返りを行っている。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5				一人一人の記録をしっかりと取りモニタリング前に振り返りを行っている。それを元に保護者と面談して計画の見直しに繋げている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	2	3				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		その子と共に過ごすことの多い児童指導員が立会っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	1		保護者を介して行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	2		該当者なし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1			特に同法人の営む幼稚園・保育園とは詳しく情報共有をして相互理解に努めている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	2			該当なし
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4		1		相談支援事業所や児童発達支援センター、教育研究所と情報を共有し助言を受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	1	1		近くにないためできていないが、山形キャンプへ参加した子は山形の学童の子とも交流している。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	2	1		参加要請があるところには積極的に出向き情報共有に努めている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5				小さな出来事や変化を伝え、その後の子どもの活動を一緒に見守って行けるよう話し合っている。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	1	1		勉強されている保護者が多く、特別ペアレント・トレーニング研修などは行っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5				入所時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5				入所時やモニタリング、普段の送迎時などにも悩みなどを聞けるように心がけている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5				保護者から出た希望の活動を実現、手伝い
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5				保護者会では一人の質問も保護者全員が聞けるようにズームで配信したりしている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5				日々写真での報告をしている
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	1		コロナで実行できなかったが、今後は具体的な計画を作って実行したい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	2		事業所に置き閲覧可能にしているが今年途中入所の方もいるので、また周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5			曜日ごとに利用者が違うので、いろいろな想定の実訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	1		研修はないが日々活動を確認している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	2		組織で話し合いはしているが計画に記載はしていないので、今後必要に応じて記載していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5			
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	1	1	ヒヤリハット集を作ったが、書き忘れもあるので、小さなことでも書くように徹底していく。